

花のある空間

大高 令子

盛夏に楽しむ フローティングフラワー



今月の花材

バラ [オールウェイズオンユアサイド]

サンキライ—— 緑の実と葉のついたつる

アイビー—— ハート型の葉

その他—— ガラス器・フローティングキャンドル

フランスの夏のフラワーアレンジメントには、太陽の下で明るい季節を謳歌するようなスタイルが多く見られます。

一方蒸し暑い日本の夏には、水の涼やかな表情を取り入れた清涼感のある静かなアレンジが、伝統的な生け花にも通じてとても似つかわしいでしょう。

今月は、冷たい水を張ったガラス器に草花を浮かべる「フローティングフラワー」を用いて、視覚的な涼しさを空間に取り入れましょう。

まず、ガラス器を用意して、きれいな冷たい水をたっぷりと張っておきます。ガラス器は、口に向かって広がる型や寸胴型が適しています。

次にアイビーを水に沈めるように入れ、花冠の部位だけをカットしたバラとフローティングキャンドルを、沈まないようにそっと水に浮かべます。

基本的に植物は水に浮くため、沈めたアイビーも部分的に水面から出ています。

そのアイビーを利用して、バラとフローティングキャンドルが水面で自由に動き過ぎないように、浮かせたいポイントにセットしましょう。

最後に、ガラス器にサンキライを巻き付けて完成です。

キャンドルを灯して、水に映り揺らめく灯火も一緒にお楽しみください。



おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。